

ぎふシビックプライドとWell-beingに満ちたSDGs未来都市

岐阜県岐阜市（2021年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標	<p>当市は、岐阜県の南部、濃尾平野北端に位置する面積約200km²、人口約40万人の県庁所在地である。市内北部には山林、南部には市街地が広がり、中央には「岐阜城」を頂く緑豊かな「金華山」と1300年以上の歴史を誇る「ぎふ長良川の鵜飼」で有名な「清流長良川」を有している。</p> <p>総人口は2010年以降減少傾向にあり、2030年には2020年比で約2.3万人の減少が見込まれ、生産年齢人口の減少に伴う地域社会の担い手不足や社会経済活動の停滞が懸念され、持続可能なまちづくりが必要である。市民としての誇りとなる「シビックプライド」の醸成によるまちへの愛着を育むとともに、心も体も健康で、人と社会との豊かなつながりがある状態の「Well-being」の向上を図り、地域課題の解決につなげ、自律的好循環の形成を目指す。</p>	2. 関連するゴール	
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	<p>岐阜市の山水の自然と都市の資源を融合したヘルスツーリズムをはじめとする社会・環境・経済の三側面の取組を進めることにより、住む人・来る人・働く人それぞれのWell-beingに満ちたライフスタイルの実現と都市の持続的な発展を目指す。</p>		
4. 自治体SDGs推進等に向けた取組	6. 取組成果		
<ul style="list-style-type: none">①山水と都市を歩く「都市型クアオルト健康ウォーキング」<ul style="list-style-type: none">・本市の豊かな自然環境の中を個人の体力に合わせたウォーキングに取り組み、生活習慣病や介護の予防を促進、健康寿命の延伸を図る②長良川の歴史・文化・景観を活かした「かわまちづくり」<ul style="list-style-type: none">・長良川・金華山周辺エリア全体の魅力を高め、自然環境の保全やシビックプライドの醸成を図る③歴史ある商店街×新コンテンツ「リノベーションまちづくり」<ul style="list-style-type: none">・まちに新たな魅力あるコンテンツ（イベントの開催や新規出店など）を増やし、にぎわいの創出を図る④ヘルスツーリズムを支える「スマートシティぎふ」<ul style="list-style-type: none">・市民の外出機会を創出し、「出かけて健康になるまち」の実現を図る	<ul style="list-style-type: none">①2023年度のウォーキング参加者は、2022年度と比較し約40名の増（2022:1,062人、2023:1,099人）。中心市街地にある柳ヶ瀬健康運動施設「ウゴクテ」を拠点としたまちなかコースを新たに増設するとともに、旅行商品を造設し、参加者の拡大を図っている。②「かわまちづくり」では、岐阜市に寄附採納された旧いとう旅館を棟貸しの滞在型宿泊施設（宿いとう）として再生。また、鵜飼の新しい楽しみ方として鵜飼開きと鵜飼じまいに長良川夜市を開催、官民連携のもと長良川エリアの賑わい創出を推進。③「リノベーションまちづくり」では、2022年度より開始したまちづくりの担い手の育成やにぎわいの創出を目指し、柳ヶ瀬の新旧の様々な資源の魅力を活かした体験プログラムを実施する「柳ヶ瀬日常二ナール」のプログラム数を増加し継続、エリアの価値向上を図った。④「スマートシティぎふ」の自動運転バスでは、日本初となる中心市街地における5年間の継続運行を開始し、技術や社会受容性の検証を行っている。		
5. 取組推進の工夫	7. 今後の展開策		
<ul style="list-style-type: none">・鵜飼の新しい楽しみ方として鵜飼開き（5/11）と鵜飼じまい（10/15）に長良川夜市を開催するとともに、栈敷席を設営。官民連携のもと長良川エリアの賑わい創出を推進。	<ul style="list-style-type: none">・2024年度より、まちの資源（空間・人・文化など）の活用など、中心市街地の今後のあり方を検討するため、市の機構改革により中心市街地みらい戦略課を新設。官民連携により地域の課題解決やエリアの価値向上を図る。		
8. 他地域への展開状況 （普及効果）	<ul style="list-style-type: none">・クアオルト健康ウォーキングは、「定期講座」や団体の申込みに応じ開催する「個別講座」のほか、市のイベント（ぎふ健康まつり）などにおいても「体験講座」を開設するなど、参加者の拡充を図っている。また2023年度には新たな都市型クアオルトウォーキングコースを増設、さらなる健康資源の活用、健康増進に繋げるとともにその取組をHP等で広く発信し、普及促進に努めた。・ぎふチャンの市政広報TV番組「あなたの街から・岐阜市」でのSDGsの取組紹介（収録2023年度、放映2024年度）・岐阜連携都市圏構成市町（本巣市、山県市、羽島市、瑞穂市、北方町、岐南町、笠松町）の間で、当市のSDGs推進に係る取組みを共有するとともに、他市町での取組み状況など情報交換に努めた。		

SDGs未来都市等進捗評価シート

2021年度選定

岐阜県岐阜市

2024年9月

SDGs未来都市計画名

岐阜市 SDG s 未来都市計画

～ぎふシビックプライドとWell-beingに満ちたSDG s 未来都市～

自治体SDGsモデル事業名

山水と都市が育むWell-beingなライフスタイル創造事業

～「つかさのまち・シビックプライドプレイス」が繋ぐ人と人、人とまち～

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

岐阜市 SDGs 未来都市計画 ～ぎふシビックプライドとWell-beingに満ちたSDGs 未来都市～

(2) 2030年のあるべき姿

本市が抱える課題を踏まえ、本市の強みである歴史や文化、豊かな自然を守り、活用し、さらに子どもを中心とした「子どもファースト」などの様々な取組により、SDGsの三側面を推進する。経済においては、「新たな価値を創造する人や産業が育つまち」、社会では「誰もが健幸で自分らしく活躍できるまち」、環境では「地域の自然を守り育て未来につなぐまち」を目標に、2030年のあるべき姿を「シビックプライド（市民としての誇り）とWell-being（身体的・精神的・社会的に良好な状態）に満ちた持続可能なまち」を目指し、各種事業に取り組む。

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2023年（現状値）		2030年（目標値）		達成度（%）
1	岐阜市民であることに誇りを感じる人の割合【17.17】	2020年度 53.2 %	2023年度 46.8 %	2030年度 65.0 %	-54%		
2	健康（※）だと思う人の割合（※ 身体的・精神的・社会的に良好な状態）【3.d】	2020年度 69.9 %	2023年度 62.4 %	2030年度 75.0 %	-147%		
3	現在、幸せだと感じる人の割合【3.d】	2020年度 79.9 %	2023年度 69.3 %	2030年度 85.0 %	-208%		
4	創業比率【8.2,8.3,9.2,9.5】	2016年度 4.46 %	データなし	2030年度 5.00 %	-		
5	市内総生産【8.2,8.3,9.2,9.5】	2017年度 1.6 兆円	2020年度 1.6 兆円	2030年度 1.6 兆円	100%		
6	地価（中心市街地の商業地7地点の増減率の平均）【11.3】	2013年度 ↓ 2017年度 △2.4 %	2018年度 ↓ 2023年度 △0.8 %	2018年度 ↓ 2030年度 プラスにする	64%		
7	岐阜市民であることに誇りを感じる人の割合【17.17】（再掲）	2020年度 53.2 %	2023年度 46.8 %	2030年度 65.0 %	-54%		
8	健康（※）だと思う人の割合（※ 身体的・精神的・社会的に良好な状態）【3.d】（再掲）	2020年度 69.9 %	2023年度 62.4 %	2030年度 75.0 %	-147%		
9	現在、幸せだと感じる人の割合【3.d】（再掲）	2020年度 79.9 %	2023年度 69.3 %	2030年度 85.0 %	-208%		
10	元気で長生きできるまちだと思う人の割合【3.d】	2020年度 63.9 %	2023年度 54.0 %	2030年度 70.0 %	-162%		

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2023年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
11	子どもたちにとって教育環境の充実したまちだと思ふ人の割合【4.5,4.a】	2020年度 52.4 %	2023年度 42.3 %	2030年度 60.0 %	-133%
12	男女が平等に生活や活動のできるまちだと思ふ人の割合（女性）【5.1,5.5】	2020年度 42.0 %	2023年度 33.4 %	2030年度 50.0 %	-108%
13	高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすいまちだと思ふ人の割合【10.2】	2020年度 40.8 %	2023年度 33.5 %	2030年度 50.0 %	-79%
14	岐阜市民であることに誇りを感じる人の割合【17.17】（再掲）	2020年度 53.2 %	2023年度 46.8 %	2030年度 65.0 %	-54%
15	健康（※）だと思ふ人の割合（※ 身体的・精神的・社会的に良好な状態）【3.d】（再掲）	2020年度 69.9 %	2023年度 62.4 %	2030年度 75.0 %	-147%
16	現在、幸せだと感じる人の割合【3.d】（再掲）	2020年度 79.9 %	2023年度 69.3 %	2030年度 85.0 %	-208%
17	温室効果ガス排出量【7.2,7.3,12.3,12.5,13.2,13.3】	2017年度 190.0 万t-CO ₂	2023年度 169.5 万t-CO ₂	2030年度 149.3 万t-CO ₂	50%
18	ごみ焼却量【7.2,7.3,12.3,12.5,13.2,13.3】	2018年度 129,923 t	2023年度 111,970 t	2025年度 100,000 t	60%
19	金華山や長良川などの自然の豊かなまちだと思ふ人の割合【15.1,15.5】	2020年度 92.7 %	2023年度 88.3 %	2030年度 当初値より アップ	95%

（5）「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

●指標1、7、14：「岐阜市民であることに誇りを感じる人の割合」、●指標2、8、15：「健康だと思ふ人の割合」、●指標3、9、16：「現在、幸せだと感じる人の割合」
 ・いずれも当初値を下回った。今後は、第2期SDGs未来都市計画に代わり、岐阜市SDGs未来都市計画と地方版総合戦略を統合した「岐阜市未来創生総合戦略」の推進により、市民のシビックプライドの醸成とWell-beingの向上を図り、KPIの進捗を確認していく。

●指標5：「市内総生産」
 ・当初値を維持しており、概ね順調だと捉えている。

●指標6：「地価」
 ・当初値に比べ1.6ポイント改善。中心市街地の市街地再開発事業や、官民が連携するリノベーションまちづくりの推進に伴う、民間によるマンション開発が進んでいることなどが理由と考えられる。

●指標10：「元気で長生きできるまちだと思ふ人の割合」
 ・2023年3月、交通アクセスの良い中心市街地である柳ヶ瀬の市街地再開発ビル内に開設した、健康教室の開催やトレーニングを行うことができる健康運動施設「ウゴクテ」のさらなる利活用を図る。

●指標11：「子どもたちにとって教育環境の充実したまちだと思ふ人の割合」
 ・草潤中学校の取組に倣い、2023年度に市内中学校へ展開した「生徒が自由に学べる空間「校内フリースペース」」を2024年度には倍増予定。加えて、メタバースを活用した「オンラインフリースペース（みちる〜む）」を開設するなど、子どもたちが安心して学校に馴染める環境を創出するとともに、2025年度、小中施設一体型の義務教育学校「藍川北学園」を整備、未来の学校の第一歩としてリ・デザインすることにより、指標の改善を図る。

●指標12：「男女が平等に生活や活動のできるまちだと思ふ人の割合」
 ・ぎふし共育・女性活躍企業認定件数については、138件(2023年度)と、目標値(100件)を上回るペースで増加しており、引き続きこの取組を推進し、KPIの達成を図る。

●指標13：「高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすいまちだと思ふ人の割合」
 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業において、個別支援（ハイリスクアプローチ）と健康教育や健康チェック（ポピュレーションアプローチ）を2024年度より市内全域に拡大することにより、指標の改善を図る。

●指標17：「温室効果ガス排出量」、●指標18「ごみ焼却量」
 ・当初値より上昇しており、概ね順調と捉えている。

●指標19：「金華山や長良川などの自然の豊かなまちだと思ふ人の割合」
 ・今後も市民に自然の大切さを伝える生物多様性シンポジウムの開催や金華山の魅力を伝える啓発活動を通じて、指標の改善につなげる。

●行政体内部の推進体制
 ・副市長を本部長とし、各部局長で構成される「岐阜市地方創生・SDGs推進本部」において、SDGs未来都市計画の改定等の報告を行い、オール岐阜の体制でSDGsを推進。

●情報発信・普及啓発
 ・2030年の目標達成に向け、経済・社会・環境の三側面の課題を自分ごととして捉え、様々なパートナーと協力して、SDGsの取組をさらに加速させるため、オリジナルロゴマークを公募により作成。また、市が行う各種イベントにSDGsブースを出展、SDGsの知識や取組の紹介について、パネル展示やゲームなどを通じて周知啓発を行うとともに、子ども達への出前講座を行い、周知を図った。

【基本式で計算できないKPI】No.5(1.6÷1.6)、No.6(1.6÷2.5)、No.19(88.3÷92.8) ※「当初値よりアップ」となる目標値(No.6,19)は「当初値+0.1」とみなしている。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
1	スタートアップ・イノベーション支援と地場産業のブランディング	産学官連携交流会による企業と大学等のマッチング件数	2019年度 0件	2021年度 4件	2022年度 3件	2023年度 8件	2023年度 15件	53%
2		見本市等への出展補助金申請件数	2019年度 15件	2021年度 1件	2022年度 2件	2023年度 3件	2023年度 30件	-80%
3	再開発とリノベーションを両輪とした中心市街地の活性化	柳ヶ瀬エリアの創業数（遊休不動産等を活用した、まちの魅力となるコンテンツに資する新たな事業者の数）	2012年度～2016年度（累計） 2件	2018年度～2021年度（累計） 15件	2018年度～2022年度（累計） 22件	調査なし 件	2018年度～2022年度（累計） 21件	—
4		柳ヶ瀬の入り込み客数の1日平均	2016年度 11,676人	2021年度 9,157人	2022年度 9,631人	2023年度 8,450人	2022年度 当初値より プラス	72%
5	誰もが安全・安心な環境で活躍できる地域社会づくり	不登校特例校生徒数（累計）	2020年度 0人	2021年度 40人	2022年度 83人	2023年度 123人	2023年度 120人	103%
6		ぎふし共育・女性活躍企業認定件数（累計）	2019年度 33件	2021年度 94件	2022年度 123件	2023年度 138件	2023年度 100件	157%
7		福祉施設から一般就労への移行者数（年間）	2019年度 52人	2021年度 56人	2022年度 57人	2023年度 77人	2023年度 66人	179%
8		ぎふスーパーシニア教育人材リスト登録者数	2020年度 64名	2021年 79名	2022年 82名	2023年度 90名	2023年度 95名	84%

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
9	誰もが健康に暮らせる地域社会づくり	健康づくりのために日ごろの運動に取り組んでいる人の割合	2020年度 47.6 %	2021年度 47.2 %	2022年度 47.8 %	2023年度 47.9 %	2023年度 60 %	2%
10	脱炭素・循環型の地域社会づくり	市内の太陽光発電による推定発電量(年間)	2016年度 1.0198 億kWh/年	2020年度 1.4490 億kWh/年	2021年度 1.5126 億kWh/年	2022年度 1.5822 億kWh/年	2030年度 1.4211 億kWh/年	140%
11	脱炭素・循環型の地域社会づくり	ごみ減量に取り組む市民意識	2016年度 64.3 %	2020年度 59.3 %	2022年度 65.8 %	2023年度 90.3 %	2022年度 当初値より アップ	140%
12	環境意識を高める人づくり・まちづくり	環境に関する取組を実施する人の割合	2016年度 73.8 %	2020年度 70.4 %	2022年度 75.8 %	2023年度 93.7 %	2022年度 当初値より アップ	127%

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

2023年度、岐阜県の登録制度と連携し、SDGsに取り組んでいる事業者の「見える化」を行い、岐阜市独自の支援を充実させることにより地域の活性化を図るため、当市を事務局とし、地域金融機関と構成する「岐阜市地方創生SDGs金融推進チーム」を発足させ、地方創生SDGs金融を通じ、得られた収益を地域に再投資する「自律的好循環」の形成を目指した。市内で活躍する人との出会いや生き方に触れる機会の創出を図る「ぎふMIRAI's」を2023年から教育委員会にて実施。人・もの・こと、すべてを先生とする学びを展開するなど、児童生徒へのシビックプライド醸成を目指している。

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

●指標2：「見本市等への出展補助金申請件数」
 ・2022年度実績を上回ったものの当初値を下回り、2023年目標値は達成できなかった。見本市出展の補助要件は、オンラインまたはハイブリッド方式（対面方式とオンライン方式の併用）を補助の対象としていたが、2024年度より対面方式のみの出展も対象としたことにより、指標の改善を図る。

●指標4：「柳ヶ瀬の入り込み客数の1日平均」
 ・2023年度より調査内容を見直し、柳ヶ瀬の日常的な入り込み客数をより正確に把握するため、カウント対象日から休日のイベント実施日を対象外とした。そのため2022年度に比べ2023年度の数字は減少している。引き続き、柳ヶ瀬エリアの価値向上に向けた取組みを行い、指標の向上を図る。

●指標9：「健康づくりのために日ごろの運動に取り組んでいる人の割合」
 ・2022年実績を上回る結果となったものの、当初値の0.3ポイント増にとどまり、2023年目標値は達成できなかった。健康運動施設「ウゴクテ」を活用した子育て世代をターゲットとする親子と一緒に運動を楽しむイベントの実施や、近年注目されているバルクールをはじめとするアクションスポーツのイベントを行うことにより、健康づくり・運動への関心を促し、指標の上昇につなげる。

●指標11：「ごみ減量に取り組む市民意識」
 ●指標12：「環境に関する取組を実施する人の割合」
 ・2021年実績で当初値を下回ったが、2022年実績では当初値を上回り、2023年実績においても、2023年目標値を大幅に上回る結果となった。2022年度より、ごみ減量に向けたプラスチック製容器包装の分別回収や電気式生ごみ処理機購入補助が開始したことに加え、太陽光発電設備補助の拡充により、市民の環境意識向上につながったものと考えている。

【基本式で計算できないKPI、No.4 (8,450÷11,677)、No.11(90.3÷64.4)、No.12 (93.7÷73.9) ※「当初値よりアップ」となる目標値は「当初値+0.1」もしくは「当初値+1」とみなしている。

(4) 有識者からの取組に対する評価

・岐阜市民であることに誇りを感じる人の割合、幸せだと感じる人の割合が低下しているのは少し気になる。

2. 自治体SDGsモデル事業

(1) モデル事業名

山水と都市が育むWell-beingなライフスタイル創造事業 ～「つかさのまち・シビックプライドプレイス」が繋ぐ人と人、人とまち～

(2) モデル事業の概要

SDGsの三側面における課題は、経済において就業者1人当たりの総生産が他地域に比して低調であるため、新たな産業・事業の創出による生産性の向上が必要である。また、社会においては、障がいのある方などの就労環境が十分ではないことから、誰もが自分らしく生きられる社会の構築が望まれている。環境においては、民生部門における二酸化炭素排出量の割合が大きく、自然環境保全への意識が低調であるため、脱炭素社会に向けた行動変容と自然環境を守り育てる意識の醸成が必要と考えている。

そこで、人と人、人とまちを繋ぐ拠点「つかさのまち・シビックプライドプレイス」から、岐阜市の山水の自然と都市の資源を融合した「ヘルスツーリズム」をはじめとする社会・環境・経済の三側面の取組を進めることにより、住む人・来る人・働く人それぞれのWell-beingに満ちたライフスタイルの実現と、都市の持続的な発展を目指す。

(3) 三側面ごとの取組の達成状況

取組名	取組内容	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
【経済】 ③-1 ビジネスチャレンジ・事業創造支援 ③-2 ぎふスタートアップ支援（ぎふスタートアップ相談窓口）	③-1 中央図書館において、創業に関する相談窓口を開設し、新たな事業開拓にチャレンジする人材を育成する。 ③-2 岐阜市リモートオフィスを拠点として、起業や経営に関する相談に対応する「スタートアップ相談窓口」を新設。	ぎふスタートアップ支援事業による起業家数	2020年度 0件	2021年度 7件	2022年度 23件	2023年度 27件	2023年度 15件	180%
【社会】 ①-1 障がい者福祉ショップの開設 ①-2 ワークダイバーシティの推進（超短時間雇用創出）	①-1 市庁舎1階エントランスホールに障害福祉サービス事業所等で作られた自主生産品を販売する福祉ショップを常設し、販路の確保及び工賃の向上を図る。 ①-2 多様な働き方モデルの社会実装を目指して、障がいのある方に限らず、ひきこもりの方、難病の方等、長時間働くことが難しい方の社会参加と自立を促進するため、東京大学との連携により、週20時間未満で働く超短時間雇用スキームを構築する。	福祉施設から一般就労への移行者数（年間）	2019年度 52人	2021年度 56人	2022年度 57人	2023年度 77人	2023年度 66人	179%
【環境】 ②-1 新市庁舎サステナブル建築物等先導 ②-2 ぎふ省エネチャレンジ市民運動（ぎふ減CO2ポイント制度） ②-3 「森・川・海」の繋がりを独自教科	②-1 2021年度の運用開始にあわせて、市庁舎の設備に関する省エネ効果の測定・検証を行ない、自然エネルギーを最大限に活用する。 ②-2 岐阜市地球温暖化対策実行計画に基づき、ぎふ減CO2ポイント制度を展開する。 ②-3 小中学生が海を切り口に多様な視点から地域内外の環境のあり方を考える。	ぎふ減CO2ポイント制度参加者数	2019年度 3,362人	2021年度 2,051人	2022年度 2,281人	2023年度 1,893人	2023年度 当初値よりアップ	56%

(4) 「三側面ごとの取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

【経済】指標：「ぎふしスタートアップ支援事業による起業家数」

・2022年実績、2023年実績において2023年目標値を大幅に上回る成果となった。2021年度に開設した「スタートアップ相談窓口」での継続的な支援等が要因と考えられる。2024年度、スタートアップ推進室を新設し、岐阜市スタートアップ・エコシステムの拡充等を図り、創業だけでなくスタートアップ企業の輩出に力を入れていく。

【社会】指標：「福祉施設から一般就労への移行者数」

・2023年実績において、当初値及び2021年実績、2022年実績を大きく上回り、2023年目標値を達成した。働く意思があっても長時間働くことが難しい方の社会参加と自立を支援するため、2022年4月に「超短時間ワーク応援センター」を開設し、求職者と企業のマッチングを行っている。2023年度は超短時間雇用の理解を深めるために企業向けのワークショップを開催。すべての人の居場所と出番をつくり出し、生きがいをもって社会生活を送れる環境を創出していく。

【環境】指標：「ぎふ減CO2ポイント制度参加者数」

・当初値を下回る値となり、2023年目標値は達成できなかった。今後は申請手続きの簡略化や、ポイント取得の対象となる環境配慮行動を拡充し、市民が気軽に継続して参加できるよう改善を図る。

【基本式で計算できないKPI】ぎふ減CO2ポイント制度参加者数(1,893÷3,363)※「当初値よりアップ」となる目標値は「当初値+1」とみなしている。

2. 自治体SDGsモデル事業（三側面をつなぐ統合的取組）

(1) 三側面をつなぐ統合的取組名

山水と都市が融合した「ヘルスツーリズム」の推進

(2) 三側面をつなぐ統合的取組の概要

本市が誇る「山水」と「都市」の地域資源の魅力を磨き、融合させた「山水」と「都市」を歩く「都市型クアオルト健康ウォーキング」を軸として、「社会」「環境」「経済」の三側面につながるヘルスツーリズムを推進し、市民のシビックプライドの醸成とWell-beingの向上を目指す。

(3) 三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果

経済⇄環境	経済⇄社会	社会⇄環境
<ul style="list-style-type: none"> ・長良川周辺エリアの価値を高め、消費や経済の活性化を図る取組「かわまちづくり」を推進し、長良川に近接する公共空間「長良川右岸プロムナード」でイベントを実施することにより、まちづくりと一体となった水辺空間の創出を図り、楽しみながら自然環境を身近に感じることができ、環境保全の意識やシビックプライドの醸成が期待される。 ・また、長良川、金華山など本市が誇る豊かな自然環境を活かした「クアオルト健康ウォーキング」の取組により、健康に配慮した「食」や「温泉」などの地域資源を組み合わせた旅行商品の造成を進め、観光交流人口の増加による観光関連産業の拡大をもたらす、市内消費額増加が期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に親しまれてきた繁華街である柳ヶ瀬周辺エリア（約28ha）において、約150の新規出店（2014.4～2021.6）がなされ、そのうち、チェーン店などを除いた87店舗にアンケートを実施した結果、約8割が官民の連携した「リノベーションまちづくり」に関わりがあると回答を得た。このまちづくりへの取組によって柳ヶ瀬周辺エリアの変化への期待が高まり、更なる新規出店や雇用拡大につながるものと期待される。 ・また、健康増進を図る「クアオルト健康ウォーキング」の取組が活力あふれる市民の増加、ひいては経済活動の担い手となる就労者の確保・拡大につながることを期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の移動支援など地域公共交通の課題解消に向け、自動運転実証実験を実施。環境に配慮した車両（電気）を用いることで、自然環境を守り育てる意識啓発にも寄与したものと考えている。 ・また、自然豊かな本市のコースを歩く「クアオルト健康ウォーキング」への参加を促すことにより、市民が運動する機会や外出するきっかけを創出し、運動習慣の定着を図り、健康寿命の延伸が期待される。

(4) 三側面をつなぐ統合的取組の達成状況

No	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
1	【経済→環境】 岐阜県条例対象事業者（※）の温室効果ガス排出増減比較（2013年度：100%） ※ 原油換算エネルギー使用量が1,500kℓ/年以上の事業所	2018年度 87 %	2019年度 87 %	2020年度 74 %	2021年度 71 %	2030年度 54 %	48%
2	【環境→経済】 岐阜長良川温泉旅館協同組合加盟施設宿泊客数	2019年度 304,981 人	2021年度 114,646 人	2022年度 184,917 人	2023年度 224,341 人	2023年度 350,000 人	-179%
3	【経済→社会】 有効求人倍率	2019年(12月) 2.29	2021年(12月) 1.68	2022年(12月) 1.90	2023年(12月) 1.83	2023年 当初値より アップ	80%
4	【社会→経済】 市内世帯の消費額（月平均）	2020年 260,046 円	2021年 256,353 円	2022年 261,480 円	2023年 269,015 円	2023年 当初値より アップ	103%
5	【社会→環境】 市内の世帯当たりガソリン消費にかかる二酸化炭素排出量（年間）	2017年度 1.2 tCO ₂	2020年度 1.0 tCO ₂	2021年度 0.8 tCO ₂	2022年度 1.0 tCO ₂	2030年度 0.99 tCO ₂	95%
6	【環境→社会】 健康づくりのために日ごろの運動に取り組んでいる人の割合	2020年度 47.6 %	2021年度 47.2 %	2022年度 47.8 %	2023年度 47.9 %	2023年度 60 %	2%

(5) 自律的好循環の形成に向けた取組状況

・まちの魅力や新たな観光情報を発信する情報コンテンツを集約した拠点となるシビックプライドプレイス(愛称：ぎふ古今)を2022年3月「みんなの森 ぎふメディアコスモス(市立中央図書館、市民活動交流センター、多文化交流プラザ等からなる複合文化施設)」内に開設し、文化的情報資源を用いて、観光の誘発やまち歩きにつながる取組を実施。また、情報発信について学ぶ担い手育成講座を開催し、育成講座修了生がまち歩きスポットを新たに作成(31か所)に加え、市民ライターとして、ブログの記事を投稿(27本)し、シビックプライドプレイスのコンテンツの充実を図るなど、市民自らがまちに関心を持ち、まちづくりに積極的に関わろうとする意識の醸成を図った。

・長良川鵜飼に関して、2022年度に運行開始した高級観覧船の好評を受け、2023年度は通常の観覧船にも椅子席使用の船を導入し、利用客の拡大を図った。

・2023年度より鵜飼の歴史や船頭の技などを豊富な写真とともに詳しく掲載している、ハンドブック「長良川鵜飼再発見」のリニューアルに着手する。またリニューアルにあたっての取材の一部を市HPに掲載、鵜飼の魅力を効果的に発信し、市民の盛り上がり創出する。

(6) 「三側面をつなぐ統合的取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

●指標1：「岐阜県条例対象事業者の温室効果ガス排出増減比較」

・2023年実績は、2022年の実績を超え、2030年の目標達成に向けて順調に推移している。2023年度、脱炭素化に向けたスタートアップ事業として「岐阜市脱炭素社会推進シンポジウム」を開催、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを旨とし、市民・事業者・行政の「オール岐阜」の力を結集し、「ゼロカーボンシティ」の実現にチャレンジする「岐阜市ゼロカーボンシティ宣言」を表明。2023年度に開設した岐阜市脱炭素ポータルサイトでの事業者の取組み事例の紹介や、2024年度より開始した事業者のCO2排出量可視化を支援するサービスを実施するなど、引き続き、事業者への取組みを進めていく。

●指標2：「岐阜長良川温泉旅館協同組合加盟施設宿泊客数」

・当初値を下回り、2023年目標値は達成できなかった。岐阜長良川温泉旅館協同組合加盟施設宿泊客数(No.2)は、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客が戻り切っていないと捉えている。需要が伸びている外国人観光客を取込むべく、2024年度よりインバウンド推進室を設置し、庁内体制を強化するとともに、新たな地域DMOに役割を担う（公財）岐阜観光コンベンション協会とも連携を密にし指標の改善を図る。

●指標3：「有効求人倍率」

・コロナ禍からの経済活動の再開に伴い求人が伸びつつあり、雇用状況の改善が見られる。

●指標6：「健康づくりのために日ごろの運動に取り組んでいる人の割合」（再掲）

・2022年実績を上回る結果となったものの、当初値の0.3ポイント増にとどまり、2023年目標値は達成できなかった。健康運動施設「ウゴクテ」を活用した子育て世代をターゲットとする親子で一緒に運動を楽しめるイベントの実施や、近年注目されているバルクールをはじめとするアクションスポーツのイベントを行うことにより、健康づくり・運動への関心を促し、指標の上昇につなげる。

【基本式で計算できないKPI】No.3(1.83÷2.3)、No.4(269,015÷260,047) ※「当初値よりアップ」となる目標値は「当初値+0.1」もしくは「当初値+1」とみなしている。

(7) 有識者からの取組に対する評価

- ・ぎふスタートアップ支援事業による起業者数は増加しており、効果が現れてきている。福祉施設から一般就労への移行者数も実績が出ており、社会参加と自立の支援へとつながっており評価できる。ぎふ減CO2ポイント制度も、サービス向上によりその活用が拡大できるように工夫すべきである。
- ・スタートアップ支援による起業者数は着実に増えていると考えられる。

岐阜県岐阜市 第1期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2023年	2030年（目標値）	達成度 （%）	第2期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	岐阜市民であることに誇りを感じる人の割合【17.17】	2020年度 53.2 %	2023年度 46.8 %	2030年度 65.0 %	-54%	目標達成度が低いため、引き続き、岐阜市未来創生総合戦略においても、シビックプライドとWell-beingに満ちた持続可能なまちの実現に向けた、経済・社会・環境の三側面それぞれの取組を継続・推進し、目標達成を図る。
2	健康（※）だと思ふ人の割合 （※ 身体的・精神的・社会的に良好な状態）【3.d】	2020年度 69.9 %	2023年度 62.4 %	2030年度 75.0 %	-147%	目標達成度が低いため、2030年度の目標達成に向けた進捗の確認に加え、岐阜市未来創生総合戦略における2027年度の目標値についても、2023年度の実績を基準値を設定し、これを上回るよう進捗の確認を行う。
3	現在、幸せだと感じる人の割合【3.d】	2020年度 79.9 %	2023年度 69.3 %	2030年度 85.0 %	-208%	目標達成度が低いため、引き続き、岐阜市未来創生総合戦略においても、シビックプライドとWell-beingに満ちた持続可能なまちの実現に向けた、経済・社会・環境の三側面それぞれの取組を継続・推進し、目標達成を図る。
4	創業比率【8.2,8.3,9.2,9.5】	2016年度 4.46 %	データなし %	2030年度 5.00 %	—	目標達成度が測れないため、岐阜市未来創生総合戦略では記載しないが、別の指標により推進を図る予定。
5	市内総生産【8.2,8.3,9.2,9.5】	2017年度 1.6 兆円	2020年度 1.6 兆円	2030年度 1.6 兆円	100%	目標達成できており、岐阜市未来創生総合戦略における2027年度の目標値は、1.7兆円とし、これを上回るよう更なる取組の推進を図る。
6	地価（中心市街地の商業地7地点の増減率の平均）【11.3】	2013年度 ↓ 2017年度 △2.4 %	2018年度 ↓ 2023年度 △0.8 %	2018年度 ↓ 2030年度 プラスにする	64%	順調に進捗しており、岐阜市未来創生総合戦略における、2027年度の目標値は、2030年度の目標値と同様、プラスにする設定、引き続き官民連携等を進めながら中心市街地の価値向上に向けた取組を推進していく。
7	岐阜市民であることに誇りを感じる人の割合【17.17】（再掲）	2020年度 53.2 %	2023年度 46.8 %	2030年度 65.0 %	-54%	目標達成度が低いため、引き続き、岐阜市未来創生総合戦略においても、シビックプライドとWell-beingに満ちた持続可能なまちの実現に向けた、経済・社会・環境の三側面それぞれの取組を継続・推進し、目標達成を図る。
8	健康（※）だと思ふ人の割合 （※ 身体的・精神的・社会的に良好な状態）【3.d】（再掲）	2020年度 69.9 %	2023年度 62.4 %	2030年度 75.0 %	-147%	目標達成度が低いため、2030年度の目標達成に向けた進捗の確認に加え、岐阜市未来創生総合戦略における2027年度の目標値についても、2023年度の実績を基準値を設定し、これを上回るよう進捗の確認を行う。
9	現在、幸せだと感じる人の割合【3.d】（再掲）	2020年度 79.9 %	2023年度 69.3 %	2030年度 85.0 %	-208%	目標達成度が低いため、引き続き、岐阜市未来創生総合戦略においても、シビックプライドとWell-beingに満ちた持続可能なまちの実現に向けた、経済・社会・環境の三側面それぞれの取組を継続・推進し、目標達成を図る。
10	元気で長生きできるまちだと思ふ人の割合【3.d】	2020年度 63.9 %	2023年度 54.0 %	2030年度 70.0 %	-162%	目標達成度が低いため、2030年度の目標達成に向けた進捗の確認とともに、岐阜市未来創生総合戦略における2027年度の目標値については、2021年度の実績を基準値を設定し、これを上回るよう進捗の確認を進めていく。
11	子どもたちにとって教育環境の充実したまちだと思ふ人の割合【4.5,4.a】	2020年度 52.4 %	2023年度 42.3 %	2030年度 60.0 %	-133%	目標達成度が低いため、2030年度の目標達成に向けた進捗の確認とともに、岐阜市未来創生総合戦略における2027年度の目標値については、2021年度の実績を基準値を設定し、これを上回るよう進捗の確認を進めていく。
12	男女が平等に生活や活動のできるまちだと思ふ人の割合（女性）【5.1,5.5】	2020年度 42.0 %	2023年度 33.4 %	2030年度 50.0 %	-108%	目標達成度が低いため、2030年度の目標達成に向けた進捗の確認とともに、岐阜市未来創生総合戦略における2027年度の目標値については、2021年度の実績を基準値を設定し、これを上回るよう進捗の確認を進めていく。
13	高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすいまちだと思ふ人の割合【10.2】	2020年度 40.8 %	2023年度 33.5 %	2030年度 50.0 %	-79%	目標達成度が低いため、2030年度の目標達成に向けた進捗確認とともに、岐阜市未来創生総合戦略における2027年度の目標値については、2021年度の実績を基準値を設定し、これを上回るよう進捗の確認を進めていく。
14	岐阜市民であることに誇りを感じる人の割合【17.17】（再掲）	2020年度 53.2 %	2023年度 46.8 %	2030年度 65.0 %	-54%	目標達成度が低いため、引き続き、岐阜市未来創生総合戦略においても、シビックプライドとWell-beingに満ちた持続可能なまちの実現に向けた、経済・社会・環境の三側面それぞれの取組を継続・推進し、目標達成を図る。
15	健康（※）だと思ふ人の割合 （※ 身体的・精神的・社会的に良好な状態）【3.d】（再掲）	2020年度 69.9 %	2023年度 62.4 %	2030年度 75.0 %	-147%	目標達成度が低いため、2030年度の目標達成に向けた進捗の確認に加え、岐阜市未来創生総合戦略における2027年度の目標値についても、2023年度の実績を基準値を設定し、これを上回るよう進捗の確認を行う。
16	現在、幸せだと感じる人の割合【3.d】（再掲）	2020年度 79.9 %	2023年度 69.3 %	2030年度 85.0 %	-208%	目標達成度が低いため、引き続き、岐阜市未来創生総合戦略においても、シビックプライドとWell-beingに満ちた持続可能なまちの実現に向けた、経済・社会・環境の三側面それぞれの取組を継続・推進し、目標達成を図る。
17	温室効果ガス排出量【7.2,7.3,12.3,12.5,13.2,13.3】	2017年度 190.0 万t-CO ₂	2023年度 169.5 万t-CO ₂	2030年度 149.3 万t-CO ₂	50%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており、引き続き岐阜市未来創生総合戦略で進捗を確認していく。
18	ごみ焼却量【7.2,7.3,12.3,12.5,13.2,13.3】	2018年度 129,923 t	2023年度 111,970 t	2025年度 100,000 t	60%	順調に進捗しており、岐阜市未来創生総合戦略における2025年度の目標値は、100,000 tと設定、引き続きごみの発生抑制、再生利用、分別回収など循環型社会の構築に向けた運動を官民一体で推進していく。
19	金華山や長良川などの自然の豊かなまちだと思ふ人の割合【15.1,15.5】	2020年度 92.7 %	2023年度 88.3 %	2030年度 当初値より アップ	95%	2030年の目標へ向けて、今後も自然と共生するまちづくりを推進し、岐阜市未来創生総合戦略における目標値（2023年度よりアップ）を目指し、進捗を確認していく。

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2023年実績	2023年目標値	達成度 (%)	第2期計画 (または独自計画) のKPIへの反映状況
1	スタートアップ・イノベーション支援と	産学官連携交流会による企業と大学等のマッチング件数	2019年度 0 件	2023年度 8 件	2023年度 15 件	53%	目標達成度が低いため、岐阜市未来創生総合戦略では見直し、記載しないが目標達成へ向け、別の手法により進捗管理を行う予定。
2	地場産業のブランディング	見本市等への出展補助金申請件数	2019年度 15 件	2023年度 3 件	2023年度 30 件	-80%	岐阜市未来創生総合戦略では記載しないが、目標達成へ向け、補助金額を別の手法により進捗管理を行う予定。
3	再開発とリノベーションを両輪とした中心市街地の活性化	柳ヶ瀬エリアの創業数 (遊休不動産等を活用した、まちの魅力となるコンテンツに資する新たな事業者の数)	2012年度～2016年度 (累計) 2 件	調査なし 件	2018年度～2022年度 (累計) 21 件	-	調査を行わなくなったため、岐阜市未来創生総合戦略でも記載していない。
4		柳ヶ瀬の入り込み客数の1日平均	2016年度 11,676 人	2023年度 8,450 人	2022年度 当初値より プラス	72%	岐阜市未来創生総合戦略には記載はないが、別の指標により進捗管理を行う予定。
5		不登校特例校生徒数 (累計)	2020年度 0 人	2023年度 123 人	2023年度 120 人	103%	目標が達成できており、岐阜市未来創生総合戦略には記載はないが、引き続き取り組みを推進する。
6	誰もが安全・安心な環境で活躍できる地域社会づくり	ぎふし共育・女性活躍企業認定件数 (累計)	2019年度 33 件	2023年度 138 件	2023年度 100 件	157%	岐阜市未来創生総合戦略には記載はないが、別の手法により進捗管理を行う予定。
7		福祉施設から一般就労への移行者数 (年間)	2019年度 52 人	2023年度 77 人	2023年度 66 人	179%	順調に進捗しており、引き続き、岐阜市未来創生総合戦略において進捗管理を行う予定。
8		ぎふスーパーシニア教育人材リスト登録者数	2020年度 64 名	2023年度 90 名	2023年度 95 名	84%	岐阜市未来創生総合戦略には記載はないが、別の指標により進捗管理を行う予定。
9	誰もが健康に暮らせる地域社会づくり	健康づくりのために日ごろの運動に取り組んでいる人の割合	2020年度 47.6 %	2023年度 47.9 %	2023年度 60 %	2%	目標達成度が低いため、岐阜市未来創生総合戦略における2027年度の目標値は、2023年度の実績を基準値とし、これを上回るよう取組を推進する。
10	脱炭素・循環型の地域社会づくり	市内の太陽光発電による推定発電量 (年間)	2016年度 1,0198 億kWh/年	2022年度 1,5822 億kWh/年	2030年度 1,4211 億kWh/年	140%	目標が達成できており、岐阜市未来創生総合戦略には記載はないが、別の指標により進捗管理を行う予定。
11		ごみ減量に取り組む市民意識	2016年度 64.3 %	2023年度 90.3 %	2022年度 当初値より アップ	140%	目標が達成できており、岐阜市未来創生総合戦略には「脱炭素・資源循環でクリーンな未来」を掲げ、引き続き取り組みを推進する。
12	環境意識を高める人づくり・まちづくり	環境に関する取組を実施する人の割合	2016年度 73.8 %	2023年度 93.7 %	2022年度 当初値より アップ	127%	目標が達成できており、岐阜市未来創生総合戦略には「脱炭素・資源循環でクリーンな未来」を掲げ、引き続き取り組みを推進する。

(3) 三側面ごとの取組の達成状況 (自治体SDGsモデル事業又は特に注力する先導的取組)

No	取組名	取組内容	指標名	当初値	2023年	2023年 (目標値)	達成度 (%)	第2期計画 (または独自計画) のKPIへの反映状況
1	【経済】 ③-1 ビジネスチャレンジ・事業創造支援 ③-2 ぎふスタートアップ支援 (ぎふスタートアップ相談窓口)	③-1 中央図書館において、創業に関する相談窓口を開設し、新たな事業開拓にチャレンジする人材を育成する。 ③-2 岐阜市リモートオフィスを拠点として、起業や経営に関する相談に対応する「スタートアップ相談窓口」を新設。	ぎふしスタートアップ支援事業による起業家数	2020年度 0 件	2023年度 27 件	2023年度 15 件	180%	目標が達成できており、岐阜市未来創生総合戦略ではKPIを70件に見直し更なる推進を図る予定。
2	【社会】 ①-1 障がい者福祉ショップの開設 ①-2 ワークダイバーシティの推進 (超短時間雇用創出)	①-1 市庁舎1階エントランスモジュールに障害福祉サービス事業所等で作られた自主生産品を販売する福祉ショップを常設し、販路の確保及び工賃の向上を図る。 ①-2 多様な働き方モデルの社会実装を目指して、障がいのある方に限らず、ひきこもりの方、難病の方等、長時間働くことが難しい方の社会参加と自立を促進するため、東京大学との連携により、週20時間未満で働く超短時間雇用スキームを構築する。	福祉施設から一般就労への移行者数 (年間)	2019年度 52 人	2023年度 77 人	2023年度 66 人	179%	順調に進捗しており、引き続き、岐阜市未来創生総合戦略において進捗管理を行う予定。
3	【環境】 ②-1 新市庁舎サステナブル建築物等先導 ②-2 ぎふ省エネチャレンジ市民運動 (ぎふ減CO2ポイント制度) ②-3 「森・川・海」の繋がり独自教科	②-1 2021年度の運用開始にあわせて、市庁舎の設備に関する省エネ効果の測定・検証を行ない、自然エネルギーを最大限に活用する。 ②-2 岐阜市地球温暖化対策実行計画に基づき、ぎふ減CO2ポイント制度を展開する。 ②-3 小中学生が海を切り口に多様な視点から地域内外の環境のあり方を考える。	ぎふ減CO2ポイント制度参加者数	2019年度 3,362 人	2023年度 1,893 人	2023年度 当初値より アップ	56%	岐阜市未来創生総合戦略では記載しないが、目標達成へ向け、別の手法により進捗管理を行う予定。

(4) 三側面をつなぐ統合的取組の達成状況（自治体SDGsモデル事業又は特に注力する先導的取組）

No	指標名	当初値	2023年実績	2023年目標値	達成度 (%)	第2期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
1	【経済→環境】 岐阜県条例対象事業者（※）の温室効果ガス排出増減比較（2013年度：100%） ※ 原油換算エネルギー使用量が1,500kℓ/年以上の事業所	2018年度 87 %	2021年度 71 %	2030年度 54 %	48%	岐阜市未来創生総合戦略には記載はないが、別の指標により進捗管理を行う予定。
2	【環境→経済】 岐阜長良川温泉旅館協同組合加盟施設宿泊客数	2019年度 304,981 人	2023年度 224,341 人	2023年度 350,000 人	-179%	岐阜市未来創生総合戦略においては、指標を見直し、別の指標により進捗管理を行う予定。
3	【経済→社会】 有効求人倍率	2019年（12月） 2.29	2023年（12月） 1.83	2023年 当初値より アップ	80%	岐阜市未来創生総合戦略には記載はないが、別の指標により進捗管理を行う予定。
4	【社会→経済】 市内世帯の消費額（月平均）	2020年 260,046 円	2023年 269,015 円	2023年 当初値より アップ	103%	順調に進捗しており、引き続き、岐阜市未来創生総合戦略において進捗管理を行う予定。
5	【社会→環境】 市内の世帯当たりガソリン消費にかかる二酸化炭素排出量（年間）	2017年度 1.2 tCO ₂	2022年度 1.0 tCO ₂	2030年度 0.99 tCO ₂	95%	岐阜市未来創生総合戦略には記載はないが、別の指標により進捗管理を行う予定。
6	【環境→社会】 健康づくりのために日ごろの運動に取り組んでいる人の割合	2020年度 47.6 %	2023年度 47.9 %	2023年度 60 %	2%	目標達成度が低いため、岐阜市未来創生総合戦略における2027年度の目標値は、2023年度の実績を基準値とし、これを上回るよう取組を推進する。

(5) 第1期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括

<p>●特筆すべき事業内容</p> <p>【(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況】における指標6：「ぎふし共育・女性活躍企業認定件数」や指標7：「福祉施設から一般就労への移行者数」、指標10：「市内の太陽光発電による推定発電量」、指標11：「ごみ減量に取組む市民意識」、指標12：「環境に関する取組を実施する人の割合」に関する指標の目標達成度は高い。スタートアップ支援やワークダイバーシティ、脱炭素等に関する取組に成果があったと考えられる。今後もこれらの取組を一層推進していく。</p> <p>●成果</p> <p>【(1) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況】では、市民の意識に関する指標について低下傾向がみられるが、【(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況】、【(3) 三側面ごとの取組の達成状況】、【(4) 三側面をつなぐ統合的取組の達成状況】では、特に経済、環境面での達成割合は順調に進んでいる指標も多い。今後も、市政運営の基本方針（オールぎふのまちづくり、対話による合意形成、一年勝負、こどもファースト、働き甲斐のある職場づくり）を意識した施策展開を継続するとともに、シビックプライドとWell-beingに満ちた持続可能なまちの実現に向け、経済・社会・環境の三側面それぞれの取組を継続・推進することにより目標達成を目指していく。</p> <p>●課題</p> <p>【(1) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況】における、指標1、7、14：「岐阜市民であることに誇りを感じる人の割合」、指標2、8、15：「健康だと思ふ人の割合」、指標3、9、16：「現在、幸せだと感じる人の割合」をはじめ、指標10：「元気で長生きできるまちだと思ふ人の割合」、指標11：「子どもたちにとって教育環境の充実したまちだと思ふ人の割合」、指標12：「男女が平等に生活や活動のできるまちだと思ふ人の割合（女性）」、指標13：「高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすいまちだと思ふ人の割合」といった市民意識調査項目の指標達成度がマイナスとなった。今後は、「岐阜市未来創生総合戦略」の推進により、市民のシビックプライドの醸成とWell-beingの向上を図り、KPIの進捗を確認していく。</p> <p>※指標ごとの対応策は、（様式1）SDGs未来都市計画進捗評価シートの全体計画（1）シートの（5）「2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等に記載。</p> <p>●今後の展望</p> <p>当市は、さらなる地方創生の推進のため、岐阜市SDGs未来都市計画と地方版総合戦略を統合した「岐阜市未来創生総合戦略」を2024年3月に策定。今後は、本戦略により地方創生SDGsの推進を目指していく。また、岐阜市の山水の自然と都市の資源を融合したヘルスツーリズムをはじめとする社会・環境・経済の三側面の取組をさらに進めることにより、住む人・来る人・働く人それぞれのWell-beingに満ちたライフスタイルの実現と都市の持続的な発展を目指す。</p>
--

(6) 有識者からの取組に対する評価

<p>・将来像に掲げた「ぎふシビックプライドとWell-beingに満ちたSDGs未来都市」は概念的で非常に難しい将来像である。その達成には、市民満足度、教育、健康、循環型社会、自然環境保全、産業基盤構築等、統合的なまちづくりが必要である。そのためには市内での横断的な事業推進体制として、総合的に事業を進めてほしい。</p> <p>・健康だと思ふ人の割合、長生きできるまちだと思ふ人の割合が低下しているのも少し気になる。</p>
--